

## 夏期海外研修報告 ～アメリカ、韓国研修～

アメリカ/グランドバレー州立大学  
ESLランゲージセンター修了式に  
クラスメイトと

次も正解するぞ！」という気分  
にさせてくれた。  
クラスメイトであ

る他国の留学生は非常に積極的であった。日本の授業では、学生は積極的に手を挙げようとはしない。私も意見があっても間違えたり、違う意見だったら変に思われるのではと消極的になりがちである。私のクラスにいたサウジアラビアの学生はいつも手を挙げており、時には教師が制することもあった。その学生たちからすると、間違えるのは当たり前、失敗を恐れるより、とにかくやってみようという精神なのだと分かった。私もアメリカでは「授業にいることをアピールしなければ」と必死に手を挙げた。すると、不思議なことに間違えても恥ずかしいと思わなくなった。日本の授業でも「答えを間違えて恥をかけた」という考えではなく「積極的に自分の意見が言えた」というプラス思考でいきたい。私は、今後も海外の良い点を吸収し、変化していこうと思っている。

政治経済学科3年(留学時2年)  
田中 航平さん

私の留学の目的は、英語を学ぶ事であったが、私はそれ以外に「違う環境に身を置く」「外に出て日本を見つめ直す」「異文化に触れる」「現地の人とコミュニケーションをとる」ことを目標としていた。1ヶ月の語学留学の中で、日本とアメリカの様々な面を比較することができたが、大きな違いをみる事ができたのは、英語の授業である。まず、教師の指導方法が日本と異なっていた。日本の教師は、基本的には叱ったりしながら徹底的に基本を教え込むというやり方がみられるが、アメリカの授業では問題に正解すると”Excellent!”や”Good job!”と褒めることが上手だった。そうすることで自信に繋がり「この



褒めることが上手だった。そうすることで自信に繋がり「この

大学のキャンパスツアーにて

## 目次：

- 夏期海外研修報告 P1  
アメリカ、韓国
- 第9回聖学院大学  
留学生日本語弁論  
大会 P2
- 第5回聖学院大学  
英語スピーチ  
コンテスト P2
- 韓国での交換留学  
を終えて P3
- 留学生川越日帰り  
旅行 P3
- ヴェリタス祭で  
留学生屋台を出店 P4
- 留学生在籍状況  
お知らせ P4

## 啓明大学校 韓国語と文化コース

## 日本文化学科4年(留学時3年)

## 磯崎 美里さん

8月7日から27日までの3週間に渡る韓国文化研修では、実に多くのものを得ることができた。特に、旅行などでは決して経験できない韓国での暮らし、現地学生との交流をとおして飛躍的に韓国への理解が深まり、韓国との距離を身近に感じることができた。また、韓国語の授業や文化体験では、日本文化を学ぶ者として、

自国の文化を改めて見直すきっかけともなった。文化体験の中で特に印象に残っているのは「伝統衣装と礼節」で、韓国の伝



チマチョゴリを試着

統衣装であるチマチョゴリを実際に着て、韓国の礼節を学んだことである。チマチョゴリは日本の着物のように複雑ではなく、思ったよりも簡単に着ることができた。礼節の講義では、儒教の教えから礼儀を大切にする韓国の考え方を味わうことができた。今回の研修参加にあたり、私は韓国における日本の書籍の状況について興味を持ち、テグ市の大型書店に赴いた。書店入り口正面のレジ横に日本の雑誌、書籍、

漫画が並び、想像以上の冊数があるのに驚いた。海外で人気のある漫画『ONE PIECE』『DEATH NOTE』だけでなく、比較的知名度の低い作品も豊富に揃っていた。特に驚いたのは、日本史を題材にした漫画である『風光』や『るろうに剣心』が売られていたことであった。他国の人にとって日本の歴史をテーマにした作品でも受け入れられていると分かったことは大きな発見であった。3週間の研修を通して、今後の自分の見識や将来担うであろう国際社会との関わり方について改めて考え、様々な問題を未だに抱える日韓両国が今以上に歩み寄ることができるよう些細でも尽力できる人間になりたいと考えられるようになった。



啓明大学で日本語を学ぶ学生と

## 第9回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催される

12月7日（水）聖学院大学チャペルにおいて、第9回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催されました。予選で選抜された8名が「私の異文化体験」「未来の私」「世界の中の日本ー私のイメージ」「私の主張」をテーマに熱弁を奮いました。

学長賞を受賞したのは、日本文化学科2年のシュク・ショウショウさん（中国）の「中国と日本のプレゼントの違い」で、中国では縁起の良い「櫛」を日本人の友人に贈ったところ、日本では櫛の贈物は縁起が悪いと知らされた驚きを挙げ、同じアジアの国であっても習慣の違いがあり、違いを発見することの面白さを語りました。第2位「日本語教育委員長賞」を受賞したのは、欧米文化学科1年のヌチャ・バーバラさん（ベナン）の「日本へ留学して」。ベナンから日本に留学してホームシックで泣いていた頃、東日本大地震での恐怖、それでも日本に残っ



懇親会場にて

た心の葛藤や変化を表現しました。第3位の「国際部長賞」を獲得したのは、コミュニティ政策学科1年のカ・セツレンさん（中国）の「勇気-人生には不可欠なもの-」。初めて親元を離れ日本に住み、弱音を吐いた時の母の「勇気を出して歩きなさい」の一言で一歩踏み出した体験を力強く語りました。標宣男副学長より「留学生の生きた体験を聴きながら異文化体験をすることができました」と総評があったとおり、国を越えて様々な経験を積んだ留学生の体験や主張は、聴衆に大きなインパクトを与えました。

### 〔学長賞〕

日本文化学科2年 シュク ショウショウ (ZHU JINGJING/中国)

「中国と日本のプレゼントの違い」

### 〔日本語教育委員長賞〕

欧米文化学科1年 ヌチャ クトック レネー バーバラ (NTCHA KOUTOU COU WENSA RENEE BARBARA/ベナン)

「日本へ留学して」

### 〔国際部長賞〕

コミュニティ政策学科1年 カ セツレン (HE XUELIAN/中国)

「勇気-人生には不可欠なもの-」



学長賞を受賞したシュク ショウショウさん

### 〔健闘賞〕（順不同）

コミュニティ政策学科2年 リ セツイ (LI XUEYI/中国)

「私の異文化体験」

欧米文化学科1年 グィム ティラン (NGHIEM THI LAN/ベトナム)

「私の故郷・福島」

人間福祉学科4年 シン イクキ (SHEN YUCHI/台湾)

「飽食と餓死」



コミュニティ政策学科1年 シュ ケツ (ZHU JIE/中国)

「新たな一歩を踏み出そうとする皆さんへ」

政治経済学科1年 ホウ シンテイ (PENG CENTING/中国)

「惨劇の中、日本への称賛」

## 第5回聖学院大学英語スピーチコンテストが開催される

12月14日（水）聖学院大学チャペルにおいて、第5回聖学院大学英語スピーチコンテストが開催され、応募者の中から選抜された8名が本選に出場しました。今年度も留学生日本語弁論大会と同様の5つのテーマに沿って弁論があり、今年度は特に“My Belief”をテーマに、困難や挫折の経験を通して得た信念や将来の夢を語る弁論者が多くいました。スピーチの内容や発音、話し方ともレベルが高く、誰が優勝してもおかしくない接戦となりました。



学長賞を受賞した山崎理恵さん



学長賞を受賞した波多栄美さん

### 〔学長賞2名〕

政治経済学科3年 山崎 理恵

“Look Ahead with a Positive Attitude”

欧米文化学科1年 波多 栄美

“Through Beautiful Pain”

### 〔英語教育委員長賞〕

欧米文化学科2年 鈴木 萌子

“Planting Seeds of Love”

### 〔国際部長賞〕

欧米文化学科1年 丹下 今日子

“Are You Smart?”

### 〔健闘賞〕（順不同）

欧米文化学科2年 千葉 良太  
“I Like Darkness”

児童学科1年 日比野 聡子  
“Life is Wonderful”

欧米文化学科3年 前田 こと美  
“We Can Learn from Our Regrets”

児童学科1年 寺川 麻理乃  
“The Power of Words”



8名の弁論者、審査員、司会者とチャペルにて

## 韓国での交換留学を終えて～湖西大学校～

### コミュニティ政策学科

2012年3月卒業

星野 佳織 さん

今回、二度目の韓国留学として4年次の秋学期に提携校である湖西大学校に交換留学を果たしました。一度目の留学はソウルにある大学附属語学学校で勉強しましたが、今回の交換留学ではそれ以上の思い出を残すことができました。

一度目の語学学校では、世界から来た様々な人種の学生と勉強する機会を持つことができましたが、現地の韓国の人々



教会の友人たちと星野さん(左から3番目)

との交流の時間をもつことができなかったため、実際に自分の韓国語がどれくらい現地の人に通じるのかという不安がありました。今回の交換留学では、韓国の学生と同じ授業を受け、寮生活を共にすることにより、韓国語能力だけではなく、本物の韓国文化や人々の考え方を知ることができました。実際に韓国の学生と生活してみると、授業で学んだ言葉だけで会話をすることができても、授業だけでは習うことのできない独特な言い回しがあり、聴き取りに苦労しました。分からないことがあった時は、受け身で待つのではなく、自分から積極的に動きました。そのおかげで韓国語は上達し、学科の友人をはじめ、ルームメイトや他の国の人との友情を深めることができました。

休日は、大学の近くの教会に通い、現地の人々と共に礼拝に出席したり、

ボランティア活動をしたり、聖歌隊としても活動しました。自分の活動を大学に限定せずに様々な活動に挑戦した結果、他大学の学生や、大学にいただけはで会うことのできなかったであろう多くの人々に出会うことができました。相手の言葉が理解できるだけで自分の価値観が広がったことに本当に感謝しています。大学生という貴重な時期に交換留学できたことで、これからの将来や自分の視野が広がり、一生に残る思い出を作ることができました。



慶州旅行で友人たちと

## 留学生川越日帰り旅行～小江戸散策～

江戸の街並みが残る「小江戸」と呼ばれる埼玉県川越市への留学生日帰り旅行が10月29日に実施されました。喜多院の境内見学、五百の地蔵が並ぶ五百羅漢、蔵造りの街並み、時の鐘、菓子屋横丁を散策しました。昼食では、川越名物の茶蕎麦、いも天ぷら、いもアイスを食べながら韓国人、中国人留学生、日本人学生のお互いの食文化の話をしたりしながらの楽しい交流の時となりました。

### 欧米文化学科3年(韓国出身)

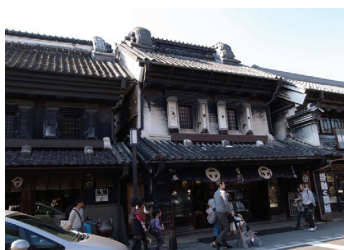
ファン ヒョンジョンさん

(Hwang Hyunjung)

昨年、私は友人と一緒に川越日帰り旅行に参加し、喜多院や鐘桜門などを見学し、日本の歴史を学びました。昨年の旅行で新しい友人ができ、またこのような機会があればぜひ参加したいと思い、今年も申込みました。今年は昨年よりも参加人数が少なく、川越を散策する時や昼食時に日本人の学生と話せるチャンスが多くとても良かったです。私は川越の



喜多院  
五百羅漢



蔵造りの  
街並み

喜多院がとても好きです。喜多院の裏側に庭があり、紅葉の季節だったので、とても風情があり綺麗でした。川越は別名「小江戸」といわれていて、私のような外国人で日本の歴史が知りたい、見たい人が多く訪れる場所だと思います。川越に行ったら京都まで行かなくても日本の古き良き時代を体験することができます。また、川越はサツマイモが有名で、街中を歩いているとサツマイモで作ったアイスクリームやお菓子、パンなどが売られていま

す。私の母国、韓国でもこのような地域の特産品が多く売られている街並みがあるといいなと思いました。今年も川越日帰り旅行に参加したことで、川越の歴史や日本の事も知ることができて本当に勉強になりました。また日本人の友人ができて今後の大学生活がますます楽しくなりそうです。



菓子屋横丁でさつまいもソフトを食べるファンさん(左)と友人たち

## 留学生の母国の味！ヴェリタス祭で留学生屋台を出店

11月2日、3日に開催された大学祭「ヴェリタス祭」において、2つの留学生グループが屋台を出店しました。1店目は、渡辺英人コミュニティ政策学科准教授のゼミグループによる屋台。手作りのラー油がピリッときいた肉まん、モチモチした水餃子、火鍋、鳥の醤油煮込はすべて中国人留学生による家庭料理でした。初日は午前中で売り切れるほどの盛況振りでした。

2店目は、日本語予備課程留学生による「留学生ショップ」。ベトナム人留学生による海老と生野菜がぎっしり入ったベトナム生春巻き、濃いコーヒーにコンデンスミルクが入ったベトナムコーヒー、ベナン出身の留学生によるタピオカミルクはどれも本場の留学生にしか出せない味わいでし

た。留学生の母国の味を学内で味わうこととおして留学生の母国を知る良い機会となりました。留学生のみなさん、お疲れ様でした！

- ・水餃子、火鍋「中国美人ず」
- ・鳥の醤油煮込「なべプロfrom China」
- ・肉まん「とくちゃんず」



左から3人目より トウソウさん、サイコウさん、チンジョウさん、オウキョクさん、トウロさん（後方）



### 「留学生ショップ」

- ・ベトナム生春巻き、ベトナムコーヒー
- ・ベナンのタピオカ



イヘミンさん、ヌチャパーバラさん、グイムティランさん、ドマントアンさん、グェンドウドさん

## 外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計
1	中国	176
2	韓国	24
3	台湾	7
4	ベトナム	6
5	ネパール	4
6	マレーシア	4
7	スリランカ	2
8	ミャンマー	1

	国籍名	合計
9	イラン	1
10	インドネシア	1
11	英国	1
12	ガボン	1
13	タイ	1
14	バングラデシュ	1
15	ベナン	1
2012年3月31日現在		231



## お知らせ・イベント

- 4月 入学式  
新入生 留学生ガイダンス  
夏期海外研修説明会
- 5月 提携校交換留学説明会  
夏期海外研修締切・面接
- 6月 国際交流会
- 7月 夏期海外研修準備講座・結団式
- 8月 夏期海外研修
- 9月 秋入学生 留学生ガイダンス  
春入学1年生 留学生ガイダンス



## SEIGAKUIN UNIVERSITY

### 聖学院大学 国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

8号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00～16:00 火～土 9:00～11:30, 12:30～16:00